

化粧品の詰め替え用エコパックの開発

【開発の背景】

株式会社鈴木ハーブ研究所は、「使って良かった」と実感できる化粧品の研究開発および販売を手掛ける化粧品会社です。また、同社は自然の恵みを活かした化粧品を作る会社として、地球環境保護のため、様々な自然環境保護活動に取り組んでいます。その一環として、同社は脱プラスチック化を図るために、ボトルを再利用できる詰め替え化粧品の開発を検討し始めました。ところが、ボトルの再利用の目安について明確な基準は無く、自社で調べる必要がありました。



写真1 ボトル化粧品

((株)鈴木ハーブ研究所 HP より)



写真2 詰め替え用エコパック

((株)鈴木ハーブ研究所 HP より)

【開発の経緯・支援内容】

(株)鈴木ハーブ研究所からボトル再利用の基準等に関する相談を受けた当センターは同社との共同研究を実施し、以下の提案や取組を行いました。

1. 試験方法の提案

詰め替え用化粧品の毎月1回補充するモニター試験を6カ月間行い、毎月のアンケート調査と、3カ月毎にボトル内の化粧品残液の汚染指標菌測定を行うことを提案しました。

2. ボトル内化粧品残液の菌検査の実施

モニターが6カ月間使用したボトル内の化粧品残液について、汚染指標菌の有無を調べたところ、本研究の使用条件の範囲では菌は検出されませんでした。このことは、ボトル再利用の目安の参考となる客観的なデータの取得に繋がりました。

3. 製品のパッケージについて

ボトルへの詰め替え易さなどを考慮しながら、パックの大きさ、形状などについて意見交換を行いました。

【共同研究による効果】

令和4年12月から(株)鈴木ハーブ研究所のECサイトで発売が開始されました。開発を支援した詰め替え用エコパックでは、ボトル製品と比較して約74%のプラスチック量削減を実現しました((株)鈴木ハーブ研究所ホームページより)。また、アンケート調査や菌検査の結果に基づき、ボトルを詰め替えに使用する目安は6カ月までとしました。

商品名	パイナップル豆乳ローションプレミアムエコパック
内容量	110 mL
購入方法	(株)鈴木ハーブ研究所 EC サイトにて購入可能

基礎となった事業

令和3年度 オンリーワン技術開発支援事業（共同研究）
試験研究事業費（技術相談）

担当グループ

フード・ケミカルG

グループ長

武田 文宣

TEL:029-293-7497

主任研究員

飛田 啓輔

主 任

野口 友嗣